

# めぐみイエス・キリスト教会

2026年1月25日(日)第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第792号」



2026年標題聖句

ヨハネの福音書14章1節～2節

《「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。」(新改訳第Ⅱ版)》

礼拝 毎週日曜日 午前10時～11時

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌209「慈しみ深き」 p. 316

【交読文】 No.3 詩篇第16篇 p. 880

【賛美Ⅱ】 新聖歌233「驚くばかりの」 p. 354

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「神の都へ」

【聖書朗読】 ルカの福音書12章4節～7節(新約p. 497)

【礼拝説教】 「多くの雀よりも」

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書12章4節～7節)

12:4 「わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、その後はもう何もできない者たちを恐れてはいけません。

12:5 恐れなければならない方を、あなたがたに教えてあげましょう。殺した後で、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたがたに言います。この方を恐れなさい。

12:6 五羽の雀が、二アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でも、神の御前で忘れられてはいません。

12:7 それどころか、あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。恐れることはありません。あなたがたは、多くの雀よりも価値があるのです。」

### ●ポイント1.「恐れなければならない」とは？

#### ※伝道者の書12章13節～14節「ソロモンの結論」(旧約p.1154)

12:13 結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。  
12:14 神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからである。

#### ※ヘブル書9章27節～28節「十字架と再臨」 (新約p.448)

9:27 そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、  
9:28 キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現われて下さいます。

### ●ポイント2.「五羽の雀」とは？

#### ※マタイの福音書10章29節「同一平行記事から」 (新約p.19)

10:29 二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。

## ◎先週のメッセージ【教会の使命とは？】

《黙示録2章から3章にかけて、エペソ教会から始まり、7つの教会が登場します。最後に登場するのが、ラオディキアの教会です。

一世紀の後半において、ヨハネが黙示録を執筆した頃は、エペソ教会が宣教の中心でした。よって、7つの教会とは、これから来たるべき時代の教会を現わしており、最後に登場するラオディキアの教会こそが、現在の教会を現しています。この教会は、パウロの弟子エパfrasがコロサイ、ヒエラポリスと共に基礎を築いたと考えられています。『私はあなたの行ないを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。そのように、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、私は口からあなたを吐き出す。』

これは厳しい言葉です。主イエスは、現在の教会に「生ぬるい」と言われるのです。そして、口から吐き出すと。

『あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、足りないものは何もないと言っているが、実はみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸であることが分かっていない。』

これも非常に厳しい言葉です。この意味は、確かに物があふれ、便利になった世の中ですが、霊的視点から見ますと、「実はみじめで、哀れで、貧しい」のです。では、どうしたら良いのでしょうか。

「火で精錬された金を買いなさい」と言うことは、この世の富ではなく天の富を求めなさいということであり、「あなたの裸の恥をあらわにしないために着る白い衣を買いなさい」と言うことは、イエス・キリストを着て、罪を犯すことをいっさいやめ、主を証しなさいと言うことなのです。

人生の選択肢には、二つしかありません。すなわち、真の神様に従い信仰に生きるか、それともこの世と悪魔に従って生きるかです。

そして、教会の使命とは、天国と地獄、永遠の命と永遠の死が存在し、やがて主イエスが再臨されることを伝えることにあるのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、2026年1月25日(日)午前10時から、通常通りです。